

上条 報告

第57号
平成26年2月

甲州市教育委員会
☎32-5097

道祖神のおコヤあれこれ

毎年一月十四日の小正月には、各地でドンド焼きなどが行われています。小正月にあわせて、各道祖神場ではおコヤが作られています。おコヤは峡東地域のものがとくに有名で、多彩な形態がみられることでよく知られています。上条地区のおコヤは、その最たるものと思われまます。

今年は、そのおコヤの取材のため、川崎市立日本民家園の学芸員のかたが来甲し、各地のおコヤをみてまわりました。そのうち民家園の企画展で紹介されるかもしれません。

ということで、今回は市内各地のおコヤを紹介します。小正月で披露される伝承芸能（藤木道祖神祭太鼓乗りのような）ほどではありませんが、正月早々にこしらえても、十四日には燃やしてしまうのが常ですから、お住まいの地区以外のおコヤはあまりみることがないと思います。上条地区のおコヤと見比べてください。



誰もが感心する上条地区のおコヤ

松里地区のおコヤ

松里地区では、おコヤの上部に長い棒を差し、棒の先端にヒノキの枝を付けるものが多く見られます。この棒は男性器を表しているといい、道祖神の男神・猿田彦命を象徴しています。



塩山三日市場・町屋



塩山小屋敷・大組



塩山藤木・西藤木



塩山藤木・下藤木



塩山藤木・上藤木

塩山地区のおコヤ

塩山地区には、わりとオーソドックスなおコヤが分布しています。ですが町中にはおコヤが失われているところもあります。千野の道祖神はおコヤを作りますが、もとと石の祠に納められています。



塩山千野・東組(寛政7年銘)



塩山千野・下組中(安永3年銘)



塩山下塩後・七五三木



塩山上塩後・上組



塩山上塩後・中組

玉宮地区のオコヤ

玉宮地区

はオコヤではなく、オヤマという竹の飾りが多くみられます。オヤマは青竹に色紙で作ったキンチャクやオコンブクロなどの飾りを吊るし、道祖神の近くに立てます。

玉宮地区

には実に十五箇所の道祖神場があり、オコヤを作るところもありますが、冬空のもと、オヤマがたなびいている風景は大変きれいです。



塩山竹森・窪御所



塩山竹森・北中、南中



塩山竹森・境組



塩山平沢・湯原

奥野田地区のオコヤ

奥野田地区のオコヤは、塩山地区と同様によくみるオコヤです。塩山地区もそうですが、オヤマとセツトで作られるのが多いです。



塩山熊野・宮組



塩山牛奥・中組(オヤマ)



塩山熊野・東組



塩山西野原・中牛奥



塩山牛奥・中組

勝沼：大和地域のオコヤ

勝沼町小佐手の二例は、棒を井桁に組みオコヤを乗せる「神輿」の形態をとります。勝沼町綿塚では、稲わらでオコヤを作り、大きな注連縄を渡し、酒樽も携えます。

大和町田野のオコヤは、近くの道祖神場から丸石神を持ってきて安置するため小規模なオコヤですが、近くに立つオヤマは立派なものです。



大和町田野(オヤマ)



大和町田野(丸石神を入れる)



勝沼町綿塚(注連縄と酒樽)



勝沼町小佐手(竹で井桁を組む)



勝沼町小佐手(クヌギ?で井桁を組む)